

令和4年度（2022年度）行政評価シート

令和4年7月8日

評価者	都市景観部長 古賀久貴
評価者	都市整備部長 森明彦

○ 施策の概要

総合計画上の位置付け	分野 5-(4) 道路整備	施策の方針	5-(4)-①道路・橋りょうの整備・維持管理
目標とするまちの姿	計画的な整備・修繕等が進められ、道路・橋りょう等の安全性と快適性が確保され、強靱化が図られています。特に、緊急輸送路や避難路は必要な整備が行なわれ、災害発生時にも市民の安全が確保されています。		
主な取組	<p>(1)道路の整備 だれもが安心して通行できる道路の整備に向け、歩行空間の確保、バリアフリー対策、無電柱化の検討を進めます。また、国県道については、県との調整・協議を図り、計画的な整備を要請します。</p> <p>(2)道路・橋りょう・トンネルの維持修繕 老朽化が進む道路・橋りょう・トンネルについて、計画的な維持修繕を行うことで強靱化を図り、災害時にも通行できるようにします。</p>		

1 成果指標

成果指標①	道路補修修繕計画に対する舗装修繕延長					出典	道路舗装修繕計画		
初期値	単位	年次	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	備考
平成30年度	%	目標値	25.0	50.0	70.0	100.0	—	—	
10.0		実績値	16.9	18.0					
		達成率	67.6%	36.0%					
成果指標②	橋りょう長寿命化計画に対する修繕完了数					出典	所管課調べ		
初期値	単位	年次	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	備考
平成30年度	橋	目標値	4	3	12	5	7	—	
1		実績値	6	2					
		達成率	150.0%	66.7%					
成果指標③	トンネル長寿命化計画に対する修繕完了数					出典	所管課調べ		
初期値	単位	年次	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	備考
平成30年度	箇所	目標値	0	1	1	1	1	1	
0		実績値	0	0					
		達成率	—	0.0%					

2 投入コスト

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
事業費	797,855	811,249				
人件費	260,490	265,215				
総事業費	1,058,345	1,076,464				

3 担当部評価

(1)「施策の方針の成果指標」の達成状況等を踏まえた施策の達成状況の分析

都市景観部

着実に事業を進捗させた。

都市整備部

橋りょうの修繕については、新富岡橋が年度内に完了せず、未達成となっているが、令和4年度は概ね計画どおり進捗している。

トンネルの修繕については、土地所有者等との調整に時間を要し、工事に着手できていない状況にある。

舗装の修繕については、令和2年度に新型コロナウイルス感染症の影響で取り止めた事業を令和3年度にスライドした影響もあり、予定通り進捗していない状況である。

(2)今後の方向性

都市景観部

街路樹の維持管理を実施し、潤いのある道路空間と公園緑地等と連携したみどりのネットワークの形成を図る。

都市整備部

重点事業については、舗装、橋りょう及びトンネルの維持管理等に要する経費であり、引き続き予算規模を拡充して計画的に整備・修繕を進めることで、道路・橋りょう等の安全性の確保に努めていく。また、交通安全に関わる道路ラインの修繕等の経費についても拡充して対応していく必要があるが、令和4年度は欠員となったことから、事務の効率化等を併せて検討し、計画的な維持修繕に努めていく。

管理施設の増加・老朽化や、近年の異常気象による住民要望の増加・多様化に対し、経費削減に努めながら予算規模については現状を維持している。今後は、多様な住民要望への対応の効率化を図るため、街路照明灯におけるLEDリースの活用や道路管理業務の委託等について検討していく。

また、道路法に基づき調整及び管理を行っている道路台帳に修繕の内容を反映させるとともに、修繕等に必要の情報(道路台帳・基準点成果等)の提供を行うことで、良好な道路管理に努めていく。

(3)施策の方針にひもづく事務事業の評価結果

重点事業	整理番号	事業名	法定受託事務	事業費(千円)	人件費(千円)	総事業費(千円)	事業評価	貢献度	最終評価
	都景-21	街路樹維持管理事業		21,863	8,237	30,100	現状維持	A	現状維持
	都整-06	道路施設管理事業		118,665	61,973	180,638	現状維持	A	現状維持
	都整-07	街路照明灯事業		37,323	3,165	40,488	現状維持	A	現状維持
	都整-10	道(水)路調査事業		41,913	72,290	114,203	現状維持	A	現状維持
	都整-11	道路台帳整備事業		51,559	30,455	82,014	現状維持	A	現状維持
	都整-12	道路橋りょう管理運営事業		35,382	8,346	43,728	現状維持	A	現状維持
	都整-13	交通安全施設維持事業		6,458	3,295	9,753	拡充	B	拡充
	都整-14	交通安全施設整備事業		22,116	13,917	36,033	現状維持	A	現状維持
重	都整-15	道路維持補修事業		329,607	23,021	352,628	拡充	B	拡充
重	都整-16	道路新設改良事業		59,308	11,641	70,949	拡充	B	拡充
重	都整-17	橋りょう維持補修事業		86,976	19,228	106,204	拡充	B	拡充
	都整-18	国県道対策運営事務		28	4,444	4,472	現状維持	A	現状維持

重点事業	整理番号	事業名	法定受託事務	事業費(千円)	人件費(千円)	総事業費(千円)	事業評価	貢献度	最終評価
	都整-19	国県道対策事業		23	4,444	4,467	現状維持	A	現状維持
	都整-20	道路整備計画等運営事務		28	759	787	現状維持	A	現状維持

(4) 貢献度に関する分析

都市景観部

街路樹の剪定等の管理作業を行うことで樹木の健全な育成を図り、潤いのある道路空間と公園緑地等と連携したみどりのネットワークの形成に寄与した。

都市整備部

道路施設管理事業は、多様化する生活環境や市民等の安全性・快適性の向上を図るために、道路管理施設の維持管理や保守点検を実施するとともに、多様な市民の要望に応えるための「道路損傷等通報システム」を本格稼働したことから、貢献度を「A」とした。

道(水)路調査事業は、土地境界の確定作業を実施し、境界の適正な維持管理と円滑な道路事業の推進に資することから、貢献度を「A」とした。

交通安全施設整備事業は、地元等調整など事務量が多大であるが、確実に実施しているため、貢献度を「A」とした。

交通安全施設維持事業は、増加傾向にある要望に対応しきれていないため、貢献度を「B」とした。

道路維持補修事業は、目標とする指標に到達していないため、貢献度を「B」とした。

道路新設改良事業は、目標とする指標に到達していないため、貢献度を「B」とした。

橋りょう維持補修事業は、目標とする指標に到達していないため、貢献度を「B」とした。